

プログラム

- 13:00** 開演
主催、来賓あいさつ
- 13:30** 日本ろう者劇団
演目／「墨塗(すみぬり)」
出演／江副悟史 砂田アトム 鈴まみ
- 14:30** ～休憩～
- 14:45** 東京外国語大学チアリーディング部RAMS
「世界はあなたに笑いかけている」「できっこないをやらなくちゃ」ほか
- 15:15** 手話サークル
「まほうのことば」「しゅわしゅわデフリンピック」ほか
- 15:35** デフリンピックトークショー
デフスポーツの魅力やデフリンピックにかける意気込みを
選手のリアルな言葉(手話)でお届けします。
- 15:55** ～休憩～
- 16:10** 手話パフォーマーRIMI
「中央フリーウェイ」「亜麻色の髪の乙女」ほか
- 16:50** 閉会あいさつ・フィナーレ

各出演者の出演時間は、進行状況により多少前後する場合がございます

手話狂言「墨塗(すみぬり)」のあらすじ

訴訟ごとのため都に滞在していた大名が、思いどおり事も運び、近日、故郷へ帰ることになりました。その前に、都でなじんだ女がいるので、別れを告げに行きます。

話を聞くと女は別れを悲しんでさめざめと泣き出します。大名は、それほどまでに自分を想っていてくれたかと感激します。が、ふと太郎冠者を見ると、女は水入れの水で目を濡らし、涙を見せかけているのです。

太郎冠者は、そっと、女の水入れを墨の入った水入れと取り替えておきます。そうとは知らずに女は、……。

■……平安時代の『平(へい)仲(じゅう)物語』という、色好みの伊達男、平貞文を主人公にした歌物語に同じ題材の話が載っています。ただし、その物語では男が空泣きするのですが、狂言は男女を逆転させ、巧みな脚色をしています。

出演団体紹介

日本ろう者劇団



昭和55年4月、演劇の好きな仲間が集まり「東京ろう演劇サークル」として発足。その後トット基金(黒柳徹子理事長)の付帯劇団なり「日本ろう者劇団」と改称。障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる手話狂言、創作劇、サインマイム等劇団独自のレパートリーを持って全国各地を公演している。

手話パフォーマーRIMI



生まれつき聴覚障がいを持つ。30歳過ぎてから手話と手話を使ったろう者のエンターテイナーとの出会いをきっかけに子供の頃からの夢、舞台上がることを実現する。「夢は何度諦めてもいい!」の思いを常に人々に伝え続けている。手話パフォーマンス、講演、手話ダンス&歌の振付、手話プロデュースと幅広く活躍。東京2020パラリンピック閉会式で大トリを務める。

デフリンピック企画

日本デフバドミントン協会
矢ヶ部紋可選手 鎌田真衣選手
(東京2025デフリンピック日本代表選手)



日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟
岸野楓選手 石川卓也選手
(日本代表主将) (パシフィックリム大会副主将)



東京外国語大学チアリーディング部 RAMS



全国的にも珍しい男女混成のチアリーディングチームで、昨年の全日本選手権大会男女混成部門では二年連続優勝を果たしました。大会でも好成績を残すRAMSが“男女混成チーム”ならではのダイナミックな演技でみなさんに、元気・勇気・笑顔を届けます!

手話サークル

SDGsの歌やデフリンピックをテーマに、手話で楽しく力強く表現するパフォーマンスを展開。小学生から91歳までのメンバーが息の合った手話パフォーマンスを披露し、親しみやすく考えさせられる演目を通して、手話の魅力と社会へのメッセージを届けます。



ホワイエ企画



Cheers for TOKYO 2025 DEAFLYMPICS 府中から世界へエールを送ろう!

11月に開催される東京2025デフリンピックまで2か月を切りました。日本で初めてのデフリンピック、多くの選手の活躍を願ってデフリンピック出場選手に向けた応援メッセージをかこう!

東京都・府中市芸術文化連携事業 「共生社会にふれて、みる」パネル展



9月に開催した織物ワークショップの様子を紹介するパネル展です。参加者同士が手話通訳を通して交流しながら、楽しく作品を制作しました。催しの合間に、是非お立ち寄りください!